

0歳児クラス 10月 第1回 「またまたまた」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保：「またまたまた」絵本提示 講：「こんにちは。あれあれ、後ろから誰か来たみたいだよ」等でお話に繋げる。 	教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット)	
	<ul style="list-style-type: none"> ①「またまたまた」の繰り返しのことばを保育士と共にリズミカルに言う。 ②最後の「つかまえた」の所は、講師や保育士がお母さんになり、子ども達を（後ろからぎゅー）抱きしめてもよい。 		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 絵本登場 会話をする

左←右 間隔狭 の設定で行うと良い

がくしゅうタイム

活動①	模倣	「またまたまた」に合わせてゾウカードをリズミカルに動かすことが出来る		教材
				提示用ゾウカード（弱両面テープ付き） ゾウカード 黒画用紙（トンネル用）
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> 保：「またまたまた」ゾウカードが入ったトンネル（黒画用紙）提示 	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> トンネル提示 ゾウカード配布 言葉掛けをする 	
		<ul style="list-style-type: none"> 講：「あれ？誰かいるのかな？」等で、トンネルからゾウカードを提示する。 ※画用紙を細長く半分に折りトンネルにする。ゾウカードは定規などに貼つてゾウの列を作る。ゾウの列をトンネルから少しづつ出して提示する。 講：ゾウに耳を傾け「なになに？ゾウさん、またまたまたってみんなとしたいの？」 「いいよ、皆でまたまたしようね」 「またまたまた」と言いながら、1人1人に丁寧にゾウカードを手渡す。 「またまたまた」のリズミカルに合わせてゾウや身体を動かし、違う姿の動きを楽しむ。 カードが動かせない子どもがいたら、「またまたまた」のリズムで先生達は子どもの手を取り一緒に動かす。 		
活動②	巧緻性	行列の後ろにゾウカードを貼ることが出来る		教材
				ゾウカード（弱両面テープ付き） カード台紙 提示用ゾウカード 提示用カード台紙
活動内容		<ul style="list-style-type: none"> 保：「おーい僕達も仲間にいれてよ」カード台紙を提示する 	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> カード台紙提示 カード台紙配布 ゾウカードで遊ぶ 言葉掛けをする 子どものフォロー 称賛する カードを集めめる 	
		<ul style="list-style-type: none"> 講：「いいよ、遊ぼう！」「またまたまた」と、カード台紙の上でゾウカードを動かして遊ぶ見本を見せる。 子ども達にもカード台紙を配り遊ぶ。「またまたまた」でたくさん遊ぶ。 たくさん遊べたらゾウカードをカード台紙に貼る見本を見せる。 両面テープを剥がすのは難しいのでフォローしながら剥がす。 両面テープのゴミはお皿のゴミ箱に捨てる。 <p>※貼つたり剥がしたりを楽しみたい場合、カードにPPテープを貼つておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 皆でカードを持ち「出来ました」等で称賛をする。 「そろそろ眠くなっちゃった…」等で、先生の手をベットに見立て、カード台紙を集めめる。 		

言葉カード	内容	秋の物（まつぼっくり・栗・どんぐり・ぶどう・柿・かぼちゃ）	教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「こんにちは」リスカード登場。「今日は秋を見つけに行くよ、皆も一緒に行こうね」で、CDをスタートさせ歌に合わせて秋カードを見せる。 <p>♪秋の物、秋の物、最初の秋の物 何でしょう、ランラランラランラランラ〇〇〇♪ ♪秋の物、秋の物、次の秋の物 何でしょう、ランラランラランラランラ〇〇〇♪ ♪秋の物、秋の物、最後の秋の物 何でしょう、ランラランラランラランラ〇〇〇♪</p> <ul style="list-style-type: none"> 次のカードに行く前に、台紙に貼る。 子どもの集中度によってカードの枚数は調整、最後まで見ることが出来るようなら6枚のカードを使用する。 間奏の間に色や味、触った感じなどの特徴のことばを添えながら進行する。 	秋の物カード リスカード 言葉カード台紙 言葉カードCD ★CDデッキ 保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に歌う 「おいしそう」「〇〇色だね」など、言葉を添える 台紙にカードを貼る

手遊び	内容	『おおきなくりの木の下で』	教材	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 先生達が楽しく歌って手遊びを見せる。子どもに手を添えられるようなら簡単な動作は子ども達と一緒に使う。（動作は別紙&Dropbox 動画を参照） 		手遊びCD ★CDデッキ Dropbox 動画&別紙 保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に歌う 子どもの手をとり一緒に使う

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	追いかける様子を感じ取れるように映像操作の工夫を行ったか
活動①模倣	子ども達が手を伸ばしてカードを取りたくなるような提示を行ったか
活動②	位置(前・後ろ)の言葉を意識しながら活動を行ったか
言葉カード(秋の物)	「秋の物」であること(季節)を意識させる言葉かけを行ったか
手遊び(大きな栗の木の下で)	子ども達が真似したくなるような見本行動が出来たか

練習タイム♪

*** テーマ・興味 ***

まてまて遊び

<遊び方>

子どもが初めて自分だけの力で行きたい場所に行けるそんな誇らしい気持ちを、楽しみながらしっかり満たしてあげられるのがこの「まてまて遊び」です。

「まてまて」と追いかけたり、「ころころ」と転がした物を追いかけたり、歩くことが出来るようになっても、ハイハイを楽しみましょう！！



ハイハイをすると、手足からの十分な運動刺激と感覚力が脳の発達を促します！！

練習タイム
の動画は
こちら

